

令和5年度

事業報告書

令和5年度 社会福祉法人 川崎町社会福祉協議会事業報告

1、法人運営

(1)理事会の開催

計5回の理事会を開催し、下記のとおり審議等を行い法人運営の適正化に努めた。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和5年 6月1日(木) 13:31～14:31 場所:川崎町総合福祉センター	理事 9名/11名 監事 2名/2名	(議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の令和4年度事業報告及び決算の承認について 第2号 令和5年度第1回評議員会の開議決議について (協議事項) 1)次期役員候補者選出について (報告事項) 1) 買い物支援事業の取組について 2) 第1回共同募金会川崎町支会理事会の開催について
2	令和5年 6月23日(金) 13:28～14:00 場所:川崎町総合福祉センター	理事 10名/11名 監事 2名/2名	(議案) 第3号 議席の決定及び議長選出方法の取扱いについて 第4号 会長及び副会長の選定について 第5号 総務委員会委員並びに福祉委員会委員の選任について (報告事項) 1) 川崎町からの「川崎町地域いきいきお出かけサロン事業」に関する委託協議の申し入れについて
3	令和5年 7月13日(木) 10:33～11:29 場所:川崎町総合福祉センター	理事 9名/11名 監事 2名/2名	(議案) 第6号 川崎町地域いきいきお出かけサロン運営事業の受託について 第7号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会処務規程の一部改正について 第8号 令和5年度第2回評議員会の開議決議について (協議事項) 1)川崎町からの後任理事候補の選出について
4	令和5年 12月1日(金) 10:27～11:03 場所:川崎町総合福祉センター	理事 11名/11名 監事 2名/2名	(事業報告) 第1号 令和5年度上半期執行状況の監査報告について 第2号 会長職務執行状況報告について (専決処分報告) 第1号 非常勤職員就業規則の一部改正について (議案)

			<p>第9号 令和5年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について</p> <p>第10号 令和5年度第3回評議員会の開議決議について(報告事項)</p> <p>1) 川崎町地域いきいきお出かけサロンの取組について</p> <p>2) 第2回共同募金会川崎町支会理事会の開催について</p>
5	<p>令和6年 3月21日(木) 10:26~12:02 場所:川崎町総合福祉センター</p>	<p>理事 9名/11名 監事 2名/2名</p>	<p>(事業報告)</p> <p>第3号 会長職務執行状況報告について(議案)</p> <p>第11号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の役員等賠償責任保険契約の締結について</p> <p>第12号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会職員給与規程及び非常勤職員就業規則の一部改正について</p> <p>第13号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>第14号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会指定障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス(居宅介護)事業所運営規程の一部改正について</p> <p>第15号 障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス事業社会福祉法人川崎町社会福祉協議会運営規程(同行援護)の一部改正について</p> <p>第16号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会指定障害者総合支援法に基づく指定障害福祉サービス(重度訪問介護)事業所運営規程の一部改正について</p> <p>第17号 令和5年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について</p> <p>第18号 令和6年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業計画について</p> <p>第19号 令和6年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業予算について</p> <p>第20号 令和5年度第4回評議員会の開議決議について(報告事項)</p> <p>1) 老人福祉センター空調機器の故障について</p> <p>2) 第3回共同募金会川崎町支会理事会の開催について</p>

(2) 監査の実施

回数	開催日時・場所	監事名	審議事項
1	令和5年 5月18日(木) 13:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 萩尾 節子	令和4年4月1日から令和5年3月31日までの事業年度の理事の業務執行の状況及び財産の状況についての監査
2	令和5年 11月20日(月) 13:30~15:30 場所:川崎町総合福祉センター	主任監事 山口 明 監事 後藤 久夫	令和5年4月1日から令和5年9月30日までの業務運営及び会計管理に関する事項についての監査

(3) 評議員会の開催

計4回の評議員会を開催し、多くの意見をいただきました。

回数	開催日時・場所	総数/出席者	審議事項
1	令和5年 6月16日(金) 13:28~14:34 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 12名/13名 監事 2名/2名	(議案) 第1号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の令和4年度事業報告及び決算の承認について 第2号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会次期役員の選任について (報告事項) 1) 買い物支援事業の取組について 2) 令和4年度共同募金事業の事業報告及び決算報告について
2	令和5年 7月21日(金) 10:32~11:17 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 8名/13名 監事 2名/2名	(議案) 第3号 川崎町地域いきいきお出かけサロン運営事業の受託について 第4号 社会福祉法人川崎町社会福祉協議会理事の選任について
3	令和5年 12月15日(金) 13:29~14:06 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 11名/13名 監事 2名/2名	(事業報告) 第1号 令和5年度上半期執行状況の監査報告について (議案) 第5号 令和5年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について (報告事項) 1) 川崎町地域いきいきお出かけサロンの取組について 2) 令和5年度共同募金活動の取組状況について
4	令和6年 3月28日(木) 13:32~14:36 場所:川崎町総合福祉センター	評議員 12名/13名 監事 2名/2名	(議案) 第6号 令和5年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の補正予算について

			第7号 令和6年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業計画について 第8号 令和6年度社会福祉法人川崎町社会福祉協議会の事業予算について (報告事項) 1) 令和6年度共同募金事業の取組について 2) 老人福祉センター空調機器の故障について
--	--	--	---

(4)委員会

①総務委員会

総務委員会は開催されませんでした。

総務委員

令和5年6月16日から令和7年会計年度まで

役職	氏名
委員長	井上 馨
副委員長	松田 孝行
委員	西本 泰博
委員	宮田 等
委員	中島 利男

②福祉委員会

福祉委員会は開催されませんでした。

福祉委員

令和5年6月16日から令和7年会計年度まで

役職	氏名
委員長	松岡 久代
副委員長	下山 正勝
委員	廣畑 美子
委員	高島 裕之・田村源次郎
委員	中嶋 重治

③評議員選任・解任委員会

評議員選任・解任委員会は開催されませんでした。

選任・解任委員

令和3年5月31日から令和6年会計年度まで

役職	氏名
委員長	久保 正敏
委員	宗吉 幸生
委員	山口 明
委員	萩尾 節子
委員	杉本 美由紀

④全員委員会

全員委員会は開催されませんでした。

委員 理事全員

役員・職員研修

	研修内容	開催日時
第1回	消防訓練	令和5年6月27日(火) 9時20分～9時40分 場所:川崎町総合福祉センター
第2回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和5年7月25日(火) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第3回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和5年11月28日(火) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター
第4回	消防訓練	令和5年12月5日(火) 9時20分～9時45分 場所:川崎町総合福祉センター

第5回	洪水時の避難訓練	令和6年2月16日(金) 9時20分～9時45分 場所:川崎町老人福祉センター 川崎町総合福祉センター 川崎町コミュニティセンター
第6回	でてこんかい・かたらん会 講師:公益財団法人さわやか福祉財団 九州1ブロックリーダー 阿部 かおり 氏	令和6年3月12日(火) 13時30分～15時30分 場所:川崎町総合福祉センター

(5)日常生活自立支援事業(権利擁護事業)

認知症・知的障がい・精神障がいなどで、判断能力が不十分なため自分一人で契約などの判断をすることが不安な方や、お金の管理に困っている方が利用するこの事業について、令和5年度は専門員1名、支援員3名で、利用者12名の日常生活の支援を行いました。利用者数は前年度比1.5倍となっています。また未契約者5名については、令和6年度も引き続き面談や契約手続きを行うこととしています。その他地域包括支援センター等と協力し、認知症高齢者等の相談援助業務を行いました。

(6)社会福祉を目的とする事業の企画及び実施

新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに伴い、ふくしまつり、喜寿祝賀会、金婚式は通常開催することができました。また、シニアクラブ連合会、民生委員・児童委員協議会、母子寡婦福祉会、身障者福祉会、保護司会、遺族会、ボランティア団体等を対象とした交流会等も開催しました。なお、災害時におけるボランティア活動の円滑かつ迅速な対応を推進するため、田川地区社協と連携して、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練を実施しました。

訓練の中で災害支援に必要な資機材について検討し、共同募金配分金を活用して災害時に備える資機材を購入しました。

(7)社会福祉活動に関する活動への住民参加のための援助

各種団体、組織等との連絡と強化に努め、住民一人ひとりが気軽に参加できる環境作りを援助しました。また、生活支援コーディネーターを配置し、多くの住民の方々と構成する「でてこんかい・かたらん会」の運営をはじめ、各地域でサロンづくりの支援等、取組を進めました。

(8)社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及宣伝、連絡調整及び助成

地域住民によるボランティア活動の理解と関心を高めるため、川崎町ボランティアセンター事業としてボランティア個人及び団体の活動支援や情報提供、ボランティア依頼に対する調整(マッチング)などを行いました。特に、イベント前の清掃活動や、ご自宅の草刈りボランティア等、様々なニーズのマッチング、ボランティアセンター主催による小・中学生対象の映写会を行い、たくさんのボランティアに協力していただきました。

また、年4回社協だよりを発行し福祉に関する情報提供を行いました。

(9)保健医療、教育の社会福祉と関連する事業との連絡

福祉教育は、すべての人が「普段の暮らしの幸せ」を実現させるため、それぞれの多様性を認め合い「ともに生きる力」を育むための学びです。特に学齢期における福祉の心づくりは、住民参加の地域福祉の基盤づくりに大きな役割を担っています。令和5年度についても、共同募金事業により、小学5年生に対して福祉教育冊子を配布し、福祉に関する教育の推進を図りました。

(10)共同募金事業への協力

令和5年度共同募金実施期間の10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金活動を実施しました。この間、街頭募金や理事・職員が訪問しての法人募金、各行政区に協力をお願いしての戸別募金、シニアクラブの一円玉募金など多くの方々の協力をいただきながら活動を実施しました。その結果、2,358,600円の募金が集まりました。募金実績の詳細は社協だよりNo.193(1月号)No.194号(4月号)に掲載しています。

(11)共同募金事業

赤い羽根共同募金事業の配分金により、地域福祉の推進に努めました。

福祉・ボランティア団体助成	14団体への活動助成
障がい児バスハイク	グリーンパーク(9月30日)参加者31名
福祉教育読本配布	「ともにいきる」町内の小学校、支援学校へ配布
米寿の祝い(記念品 タオルセット・ティッシュケース・ふきん・ぎんなんの会作製ふくろうのぬいぐるみ)	対象者139名、9月居宅、施設等に訪問して記念品の贈呈
喜寿の祝い(記念品 タオルセット・小梅ちゃんの湯無料入浴券)	対象者189名、祝賀会に参加された方には会場で贈呈。欠席者には民生委員及び社協職員で個別配付
保育図書配布	町内の保育園(所)への絵本の寄贈
文具贈呈事業	町内小学校新1年生への文具の寄贈
小学生対象 上映会	スーパーマリオブラザーズ上映(3月2日)参加者231名

2、川崎町総合福祉センターの運営

社会福祉協議会、居宅・障がい・訪問介護の事業所、地域包括支援センターが連携し運営に努めました。なお、令和5年度は新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことに加え、通信制高校等の使用があり、利用料については前年比2倍強となっています。

3、心配ごと相談業務

人権相談員、行政相談員、民生委員相談員の連携により、相談者のさまざまな相談の解決に努めました。令和2年度より隔週月2回の開催となっています。

()は令和4年度

事業内容	内容	開催日数	相談件数	1日平均相談数
心配ごと相談事業	各種相談	23日 (22日)	21件 (20件)	0.9件 (0.9件)

4、老人福祉センターの運営

新型コロナウイルス感染予防を徹底し、カラオケは引き続き中止とし、談話室と健康福祉機器は使用可能となっております。コロナ禍が落ち着き、利用者は令和4年度と比較し4,000人増となっています。

(令和5年度利用状況は別紙参照)

また、子育て支援センターと連携し、児童を取り巻く問題の解決に取り組んでまいりました。

なお、施設整備後、すでに25年が経過しており、空調機器の故障や浴場配管の水漏れ等、経年劣化による補修等が多くなり、今後の施設管理が課題となっています。

5、居宅介護支援事業

介護支援専門員は、居宅介護支援サービス業務を通じて、利用者が自立した日常生活を営むことが出来るように介護保険サービスの他、多くの社会資源を活用し、利用者が安心して生活できるよう取り組んでまいりました。また、令和4年8月より介護支援専門員を3名体制とした以降、特定事業所加算が算定可能となったため、収益増となり経営の安定化に大きく貢献しました。

6、訪問介護・介護予防・日常生活支援総合事業

要支援・要介護状態にある高齢者及び障がい者が自立した日常生活を営むことが出来るように身体介護及び生活援助、ご家族への助言や介護指導を行いました。また、特定事業所体制を維持し、事業の効率化を図りました。

また、介護報酬改定に伴い、ベースアップ等支援加算を算定し、職員の定着率の向上とサービスの質の維持に努めました。

7、障害者総合支援法に基づく、障がい福祉サービス

利用者の意思及び人格を尊重し、障がいの特性を理解し、本人の立場に立った適切な介護に努めました。

8、生活福祉資金貸付事業

低所得者世帯、身体障害者世帯等の自立、生活安定を図るため、生活福祉資金貸付の相談・申請を受け付けました。

生活困窮状態が続いている借受人世帯への相談支援業務について、生活支援員を1名配置し、償還対象者に対して生活相談や家計相談、就職相談等をおこない、借受人の生活安定を手助けできるよう努めました。

資金の種類	相談件数	貸付件数	貸付金額
更生資金(生業費)	2件	0件	0円
教育支援資金	9件	6件	3,291,000円
総合支援資金	3件	0件	0円
緊急小口資金	15件	4件	379,000円
福祉資金	15件	5件	772,000円
特例貸付	115件	0件	0円
その他	0件	0件	0円
合計	159件	15件	4,442,000円

9、障がい者(児)相談支援事業の経営

障がい者や障がい児の保護者、介護者などからの相談に応じ、必要な情報の提供や助言、障がい福祉サービス利用支援等必要な支援を行いました。また、虐待の防止及びその発見のための関係機関との連携や調整、障がい者等の権利擁護のために必要な助言を行いました。

なお、経営面では令和元年度に黒字に転じた以降、安定した経営状況となっています。

10、介護予防支援業務

この事業は、川崎町より平成31年4月から受託した地域包括支援センター業務の必須事業で、川崎社協(事業所)として運営しています。介護保険における予防給付の対象となる要支援者等の状況

にあった適切なサービスが、包括的かつ効率的に提供されるよう援助を行いました。(令和 5 年度請求件数:5,049 件)

11、川崎町地域包括支援センター業務

この地域包括支援センター業務は川崎町からの受託事業で、地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活安定のための必要な援助を行うことを目的としています。

地域の高齢者が、住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、適切なサービスや関係機関及び制度の利用につなげる等の支援を行ってきました。

また、生活支援体制整備事業では、引き続き「でてこんかい・かたらん会」を実施し、会の中で住民同士が地域の助け合い・支え合い推進について話し合いを重ねてきました。特に買い物環境向上に向けた対応については、行政(町高齢者福祉課)との合同協議を重ね、実施主体が川崎町、運営主体が社会福祉協議会という形で、令和 5 年 10 月 18 日より川崎町地域いきいきお出かけサロン事業(介護予防事業)が開始しました。

12、その他この法人の目的達成のために必要な事業

「生活困窮」「社会的孤立や孤独」「心身の障がいや不安」など、既存の制度では対応できない制度の狭間にいる方等への支援が今日的な課題となっている中、平成29年度より開始された福岡県社会福祉法人経営者協議会等が実施主体である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加し、現物給付という緊急時のツールを備えた生活困窮者等に対する相談・支援事業として取り組みました。

相対的貧困が問題となっている中、町内で子ども食堂「かわさきこども食堂コマツ屋」が月に 1 度開催されています。子ども食堂の運営を支援するため、食材や弁当容器の寄付を行いました。また、令和 6 年 2 月より弁当配布からイトインでの開催へ変更になっています。

ライフレスキュー事業、子ども食堂への食品譲渡、貧困世帯への食糧支援のため、令和 5 年 6 月よりフードバンク福岡と合意書を交わし、毎月 1 回食品の受け取りを実施し、貧困支援に役立てています。

今後も支援を継続しながら、貧困問題に取り組んでまいります。